



4月29日(火)

開成水辺スポーツ公園 開園20周年

酒匂川河川敷にある開成水辺スポーツ公園は、平成2年度に酒匂川水辺プラン事業として建設を着工しました。平成6年4月29日から利用が開始され、今年29日(火)で開園20周年を迎えます。 問 自治活動応援課 ☎84-0315



平成6年4月28日 竣工式



公園建設中にあじさいコースとしがしコースの2コースを先行して利用を開始しました。パークゴルフは北海道幕別町が発祥の地。関東では初の施設で話題を呼びました。

平成5年8月20日 仮オープン
パークゴルフ場



平成6年4月29日 利用開始
花の広場、少年野球兼ソフトボール場、サッカー場、ピクニック広場が一般開放されました。



平成19年と平成22年の9月
台風による被害
記録的な大雨により冠水、大きな被害を受けました。公園内のごみはボランティアの皆さんの協力により撤去されました。

名づけ親からお祝いメッセージ

公園の名称は、開成魅力個性推進事業の一環として「まちづくりアイデアコンテスト」を実施し、462点の応募の中から選ばれた2名の方の合作（開成水辺運動公園、開成水辺スポーツ広場）により決定しました。20周年にあたり、準採用賞受賞者から祝福の言葉をいただきました。



小川周作さん(中家村)
準採用賞
「開成水辺運動公園」

開成水辺スポーツ公園開園20周年おめでとうございます。
河川敷に、多くの方がスポーツや憩いの場として過ごせる公園が出来ると知り、公園名の募集に応募しました。他の1名の方との合作で「開成水辺スポーツ公園」という名称が選ばれて20年、今では全国的なパークゴルフ大会なども開催されています。今後も、多くの方々が参加できる活動の場となるように期待します。

20周年記念事業

式典 9時～9時40分、軟式野球場
イベント 10時～15時30分

内容 パークゴルフ大会、野球教室、少年野球交流試合、ソフトボール教室、女子ソフトボール大会、サッカー教室、少年サッカー大会、走り方教室、写真展、特産品販売ブースや飲食ブースなど
※詳細はちらしをご覧ください。

新年度のはじまりにあたり

日本一元気な町・日本一きれいな町・日本一健康な町
開成町長 府川裕一

開成町は、平成27年2月1日に町制施行60周年を迎えます。私は、これを町の新たなスタートと位置付けています。その中で重視するのは、ブランド戦略です。多くの人に「開成町」を知ってもらい、そして良いイメージを持ってもらうことが必要です。開成町に興味を持ってもらうために、ホームページのリニューアルなどを含めた町のイメージアップ事業や情報発信を積極的に行っています。4～5ページに掲載している南部地域将来構想もそのひとつです。

ここで大切になる開成町のキーワードは「日本一元気な町、日本一きれいな町、日本一健康な町」です。今日よりも明日、明日よりも明後日、そしてその先へと・・・もっともっと元気な町にしていきたいと思えます。町を元気にするのは他でもない町民の皆さんです。町をもっともっと元気にするためのメニューを用意しましたので、ここでは代表的なものを掲載します。町の新たなスタートにあたり、元気な開成のまちづくりにご協力をお願いします。



「もっともっと元気な町に」

町の玄関口、開成駅周辺の魅力あふれる“にぎわい”づくり

駅と26ヘクタールの南部地区土地区画整理事業区域をつなぐ駅前通り線周辺地区の土地区画整理事業を推進していきます。また、開成駅の利便性向上のため、駅東口ロータリーの改修設計を進めます。

農業と観光を生かした活力ある“ふるさと”づくり

交流・連携による北部地域の活性化を図るため、あしがり郷瀬戸屋敷を中心とした交流・観光拠点の整備を進めます。また、農業・商工業者などの経営基盤整備を図るために、開成ブランドを創出していきます。



日本一元気な町

子どもたちの元気な声が響き渡るまちにするために、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。子育て支援として、ファミリー・サポート・センターを開設します。また、放課後児童クラブ、のびのび子育てルーム、放課後子ども教室の拡充をしていきます。

日本一きれいな町

町の特徴を生かし、モデル的な新エネルギーの利活用を推進します。あじさい公園東側水路に、小水力発電設備(らせん式水車)を設置し、再生可能エネルギーへの転換・導入を進めます。



日本一健康な町

健康寿命の延伸を目指して、地域ぐるみの健康づくりを進めていきます。健康に関して正しい知識を持ち、自発的に健康づくりに取り組めるよう、血圧測定の実践や日常生活での運動の時間を10分間増やす活動を推進します。また、健康づくり事業への参加を促すためポイントラリーを実施します。